



2017年3月  
株式会社西部開発農産

## 安全・安心な農業の証 「JGAP」認証を取得しました



株式会社西部開発農産(本社:岩手県北上市/代表取締役社長:照井勝也)は、このたび食の安全と環境保全に取り組む農場に与えられる認証「JGAP Basic 穀物 2016」を3月13日に取得いたしました。

JGAPとは(Japan Good Agricultural Practice)の頭文字で、「適切な農場管理の基準」であり、農産物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、食の安全、環境保全型農業、労働安全など明確な基準が定められており、それらの基準は全部で120以上の項目数になります。

JGAP認証は、JGAPの基準に基づいて「食の安全」や「環境保全」に取り組んでいることが、第三者機関の審査により確認された農場に与えられる認証で、いわばJGAPは「良い農場の目印」です。

弊社は、現在北上市和賀町を中心に地域農家の皆様から借り受けた農地において、主力の水稲を筆頭に大豆、小麦、そばといった穀物の他、アスパラガス、ベビーリーフなどの野菜を生産しており、その面積は延べ900haを超えます。

また「きたかみ牛」のブランドでおなじみの黒毛和牛約200頭を、繁殖から肥育までの一貫経営で生産しております。

今回認証を受けた品目は、米(粳米・玄米)、大豆、小麦、そばの穀物で、今後はアスパラガスやベビーリーフなど、野菜類の認証取得に向けて取り組んでいく予定です。

今後もJGAPに基づく農場管理運営を実践することで、消費者の皆様の食に対する安全・安心への要求に応えると同時に、これからも「美味しい」と満足していただける農産物を消費者の皆様の食卓へお届け出来るよう取り組んでまいります。

### 【JGAP認証取得内容】

認証種類	: JGAP Basic 穀物 2016
認証品目	: 米(粳米・玄米)、大豆、小麦、そば
認証登録番号	: MIC-S-030000003
初回認定日	: 2017年3月13日
審査登録機関	: インターテック・サーティフィケーション株式会社